

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	20364
事業名	児童自立支援施設運営費負担金					
評価担当課	所 属	子)児童相談所 地域連携課			電話番号	011-622-8620
施策名	－					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ● その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	①児童自立支援施設を本市で設置していないため、道との協定で道立の施設に本市定員枠を確保しているもの ②民間社会福祉施設の整備を図り、児童の受け皿を確保する必要がある。 ③児童福祉施設等の職員の母体保護又は専心療養の保障を図り、併せて児童福祉施設等における入所者の処遇を確保することを目的としている。
	事業内容(何を実施し)	①措置費で負担しきれない法定外費用を北海道と札幌市の措置人数の実員按分により負担する。②施設整備資金借入利子:社会福祉法人等が独立行政法人福祉医療機構又は財団法人北海道新聞社会福祉振興基金から借り入れた施設整備資金に係る利子の支払に要する資金の援助を行う。③産休代替職員:施設職員が出産又は傷病のために休暇を必要とし、代替職員を臨時任用する場合に経費を補助する。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	①児童自立支援施設は、児童福祉法により都道府県及び政令指定都市で設置を義務づけられているが、本市では設置をしていないため設置の代替として北海道と協定を結び、道立施設(男子:大沼学園、女子:向陽学院)に本市定員枠を確保している。②～③は短期目標に同じ。
	他都市の状況	①本市と同様に児童自立支援施設を設置していない他の政令指定都市においても、府県と協定を結び負担金を支出している。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	2,380 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.01 人工
令和5年度予算額	29,127 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.01 人工
令和5年度決算額	9,280 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.01 人工
令和6年度予算額	23,133 千円	うち特定財源	160 千円	正規職員業務量	0.01 人工

指標	アウトプット活動指標1	北海道の算定に基づき支給するため、指標の設定は難しい。			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標1				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方						
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	